

第1学年 技術・家庭科（家庭分野）

教科のねらい

- ① 自分の着用している衣服に関心をもち、学習したことを日常生活で活用しようとする。
- ② 基本的な縫い方を身に付け、衣服の補修ができるようになるとともに、その技術をいかして作品を作る。
- ③ 住まいの役割を考え、健康的な住まいについて理解し、自分の住まい方を見直そうとする。

☆学習を進めるにあたって

使用教材	○教科書 新しい技術・家庭 〔家庭分野〕（東京書籍） ○教材 「基礎縫い 生活に役立つ小物作り」	持ち物	・教科書 ・ファイル ・筆記用具 ・裁縫道具
学習の進め方	《学習をしっかりとするには》 ○何事にも興味をもって取り組もう。 ○実習時は、友だちと協力して助け合いながらすすめよう。 ○技能は、地道に努力しよう。 《家庭学習》 ○宿題は、丁寧に行おう。必ずやって、提出しよう。 ○衣生活への理解を深め、進んで衣服の手入れや補修をして自立に努めよう。 ○住生活に関して興味をもち、健康で快適に住むために手伝いを進んでしよう。また、防災についても真剣に考え、安全に生活できるよう見直そう。 ○学習したことを家で更に調べ、実践しよう。 《定期テスト》 ○1学期末・2学期末・学年末の3回、「技術」と合わせて50分間のテストを行う。 ○教科書、ノート、配付したプリント、視聴したビデオやDVDなど授業で行ったすべての内容から出題する。また、時事問題もある。「自分の考え」をしっかりと書こう。 ○授業中に学習したことをしっかりと復習しよう。		
学習上の注意等	○授業中は、先生や友達の話や意見を大切に聞こう。 ○授業で気づいたことはノートに工夫してまとめておこう。 ○実習中は、他の班員と協力し、時間の使い方を工夫しよう。 ○ノート、プリントなどの提出期限は守ろう。 ○「どうすれば効率がいいか」など常に工夫しながら、あきらめることなく前向きに取り組もう。 ○すぐに人に聞くのではなく、自分でもよく考えよう。		

☆学習内容および評価について

学 習 計 画				評価にあたって		
学期	月	単 元 計 画	試験	評価観点		評価の場面・方法
1	4	わたしたちの衣生活と住生活 オリエンテーション 衣服の役割	期 末	関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度	・衣生活、住生活の自立 に対する興味や関心を もって、意欲的に授業 に取り組もうとしてい る。 ・安全に気をつけて実習 をしようとしている。 ・学習した内容を自分の 生活に取り入れようと している。	チャイム着席 準備物 発表意欲 行動観察 実習の取り組み 提出物 ワークやノートの内容
	5	布と繊維 衣服の手入れ 基礎縫い				
	6	生活を豊かにする物を作ろう				
	7				・自分の衣服の整理を工 夫してできる。 ・作品を工夫して仕上げ ることができる。 ・家族構成やライフステ ージに求められる住ま いの条件を考え、住ま い方を工夫できる。 ・家庭内の事故を予防し、 安全に住まう方法を工 夫できる。	実習の取り組み 発表内容 ワークやノートの内容 作品の評価 定期テスト
2	9	必要な衣服の選択 よりよい衣生活をめざして	期 末	技 能	・手縫いの基本的な縫い 方ができる。 ・作品をていねいに縫い、 美しく上げることが できる。 ・家の間取りを正確に書 くことができる。 ・家庭内の事故の安全対 策を図で表すことがで きる。	実習の取り組み ワークやノートの内容 作品の評価 定期テスト
	10	住まいの役割 家族と住まいのかかわり				
	11	安全に住むために 防災について考える				
	12					
3	1	健康で快適な室内空間	学 年 末	知 識 ・ 理 解	・衣服の手入れの仕方と 補修の仕方が理解でき る。 ・住まいのはたらきと機 能を理解できる。 ・住まいのルールやマナ ーを工夫することで、 家族の関わりを深める 快適なものになること を理解する。	定期テスト 小テスト ワークやノートの内容 授業の発表内容
	2	生活を豊かにするための工夫をしよう				
	3	よりよい住生活をめざして				